

令和3年3月19日

企画部 技術管理課からの  
お知らせ

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

## 生産力を高めてワークライフバランス推進

建設生産プロセス全般にわたる不断の見直しを進める

～ 2021年度 中国地方整備局i-Construction推進計画策定～

国土交通省では、「ICTの全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取組であるi-Construction(アイ・コンストラクション)を進めています。

中国地方整備局では、2019年度から重点的に取り組む事項を定めた「i-Construction推進計画」を策定し、i-Constructionの推進強化を図ってきているところです。

これまでの取り組み状況を踏まえ、建設生産プロセス全般にわたる不断の見直しを進め、更なる普及拡大を図るため『**2つの柱と11の取り組み**』\*を重点的に取り組み、『**魅力ある建設現場の創出**』を目標とする、**2021年度 中国地方整備局i-Construction推進計画策定**しました。

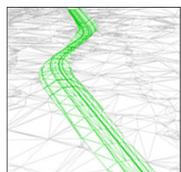
入札契約制度の改革や建設業法改正等を踏まえ、地方公共団体、建設業団体とも連携を強化しながら、公共工事における建設現場での生産性向上と働き方改革の実現に向けた施策を推進してまいります。

※ 2つの柱

I 「生産性向上として、建設生産プロセス全体の更なる効率化」に係る6つの項目

II 「働き方改革として、工事・業務の効率的な実施」に係る5つの項目

11の取り組みは推進計画をご覧ください。



(問い合わせ先)

国土交通省 中国地方整備局

082-221-9231 (代表)

【担当】

企画部 技術管理課長

山崎 彰 (内線3311)

企画部 建設専門官

北木 清治 (内線3312)

【広報担当窓口】

広報広聴対策官

加藤 浩士 (内線2117)

企画部 環境調整官

後藤 寿久 (内線3114)

中国地方整備局 中国地方のi-Construction WEBサイト <http://www.cgr.mlit.go.jp/chisei/icon/index.htm>



i-Construction

# 2021年度 中国地方整備局のi-Construction推進計画

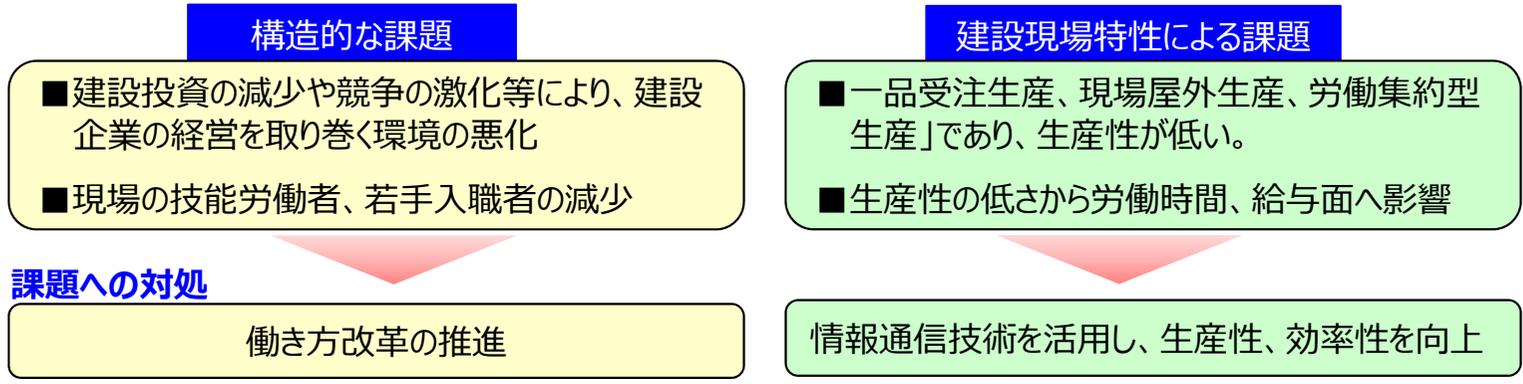
2021年 3月16日



国土を**整**え、全力で**備**える  
国土交通省  
中国地方整備局

## 中国地方整備局としてi-Constructionを推進する目的

- 背景**
- 建設産業は、地域のインフラの整備やメンテナンス等の『担い手』であると同時に、地域経済・雇用を支え、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担う『地域の守り手』として、国民生活や社会経済を支える大きな役割を担う。
  - 建設業界は様々な課題を直面している。



i-Constructionを推進し、一人一人の生産性を向上させ、企業の経営環境を改善し、建設現場に携わる人の賃金の水準の向上を図るなど魅力ある建設現場(新3K)を目指す。



魅力ある建設現場創出

「きつい、危険、きたない」から  
「給与が高い、休暇が取れる、希望が持てる」を目指して

**3K**  
(きつい、危険、きたない)

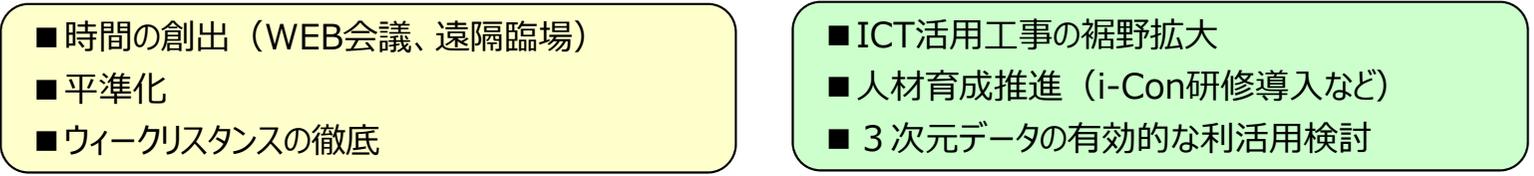
➔

**新3K**  
(給与、休暇、希望)

出典：株式会社建設システムWEBサイト

## 2021年度の中国地方整備局i-Construction推進計画策定

- 中国地方整備局では、ICT施工、BIM/CIM活用などの『生産性向上』、週休二日制、ウィークリスタンスなどの『働き方改革』の2つの柱を設け、2019年より重点的に取り組んでいる。
- ・過去の取り組み状況を踏まえ、建設生産プロセス全般にわたる不断の見直しを進める。



- 生産性向上として、建設生産プロセス全体の更なる効率化に係る6つの項目
  - 働き方改革として、工事・業務の効率的な実施に係る5つの項目
- 『2つの柱と11の取り組み』を重点的に取り組み、魅力ある建設産業へ

柱	取組項目	2020年度	2021年度
生産性向上	①ICT活用工事の拡大	<input type="checkbox"/> ICT対象工事の拡大 <input type="checkbox"/> 中国 Light ICTの活用拡大 <input type="checkbox"/> 小型ICT建機の活用促進 <input type="checkbox"/> 適正な予定価格の設定	<b>拡大</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ICT活用工事の拡大(発注方式の改訂)</li> <li>■中国 Light ICT新施策導入・活用拡大</li> <li>■整備局i-Con育成プログラム研修導入</li> <li>■ICT複数工種活用モデル工事の拡充</li> <li>■R3年度新規追加工種の拡充</li> </ul>
	②未経験企業へのICT活用工事の普及	<input type="checkbox"/> ICT実施企業へのインセンティブ等の拡充 <input type="checkbox"/> サポート事務所等によるICTの活用啓発	<b>継続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ICT実施企業へのインセンティブ等の継続</li> <li>■サポート事務所等によるICTの活用啓発</li> </ul>
	③地方公共団体でのICT活用工事の拡大	<input type="checkbox"/> 5県2市における取り組みの明確化と共有 <input type="checkbox"/> 各県での3次元CAD基礎講習会等の開催 <input type="checkbox"/> サポート事務所等による積極的な支援	<b>継続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■5県2市における取り組みの実行と共有</li> <li>■各県での3次元CAD基礎講習会等の開催</li> <li>■サポート事務所等による積極的な支援</li> </ul>
	④BIM/CIM業務・工事とフロントローディングの活用拡大	<input type="checkbox"/> BIM/CIMを導入するモデル事業の追加 <input type="checkbox"/> BIM/CIM活用業務・工事の拡充 <input type="checkbox"/> フロントローディングの活用拡大	<b>拡大</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■BIM/CIMを導入するモデル事業の追加</li> <li>■BIM/CIM活用業務・工事の拡充</li> <li>■フロントローディングの活用拡大</li> </ul>
	⑤3次元データの全面的な利活用	—	<b>新規</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■利活用検討会の設置</li> </ul>
	⑥ICTを活用した事業執行の効率化	<input type="checkbox"/> UAV等を活用した事業管理・予防保全の効率化 <input type="checkbox"/> 3次元CAD等の活用環境の計画的整備	<b>継続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■UAV等を活用した事業管理・予防保全の効率化</li> <li>■プレキャスト製品の活用促進</li> </ul>
働き方改革	⑦平準化の更なる促進	<input type="checkbox"/> 直轄業務・工事の平準化の推進 <input type="checkbox"/> 地方公共団体の平準化推進への支援	<b>拡大</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■直轄業務・工事の平準化の推進</li> <li>■地方公共団体の平準化推進への支援</li> </ul>
	⑧週休2日の普及	<input type="checkbox"/> 直轄工事の実施率向上 <input type="checkbox"/> 地方公共団体の取り組み拡大への支援	<b>拡大</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■直轄工事の実施率向上</li> <li>■地方公共団体の取り組み拡大への支援</li> </ul>
	⑨工事書類の簡素化	<input type="checkbox"/> 直轄と地方公共団体の工事関係書類の標準化推進 <input type="checkbox"/> 検査書類限定型工事検査の推進 <input type="checkbox"/> 直轄工事の書類の簡素化の推進	<b>拡大</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■直轄工事の書類の簡素化の推進</li> <li>■検査書類限定型工事検査の継続</li> <li>■共通仕様書地整版の拡充検討</li> <li>■書類作成提出要領の作成・周知</li> </ul>
	⑩ウィークリースタンスの徹底	<input type="checkbox"/> 直轄業務における更なる徹底 <input type="checkbox"/> 直轄工事への導入 <input type="checkbox"/> 相談窓口の開設 <input type="checkbox"/> 地方公共団体への普及支援	<b>継続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■直轄業務における取り組みの継続</li> <li>■直轄工事における取り組みの継続</li> <li>■地方公共団体への普及支援</li> </ul>
	⑪ICTの活用による移動時間等の削減	<input type="checkbox"/> WEB会議の推進 <input type="checkbox"/> 工事監督における遠隔現場臨場の実施	<b>拡大</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■WEB会議の全面実施</li> <li>■工事監督における遠隔現場臨場全面試行</li> </ul>

# ① ICT活用工事の拡大

# ② 未経験企業へのICT活用工事の普及

**目的** 建設現場において2025年度までに生産性2割向上を目指し、ICT活用工事の実施拡大を図る。

- 方針**
- ICT活用工事の拡大(発注方式の改訂)
  - 中国 Light ICT新施策導入・活用拡大
  - ICT複数工種活用モデル工事の拡充

## 2021年度の取組

### 【ICT活用工事の拡大】

#### ■ ICT土工

- 2億円以上または5千m<sup>3</sup>以上で発注者指定Ⅱ型(中国LightICT必須)の適用範囲拡大
- ・従来の施工者希望Ⅰ型もしくは中国LightICT※の実施を必須とする指定方式導入

※中国LightICT活用工事とは、5要件の内、出来形等施工管理を必須とし、その他を任意で実施する工事

#### ■ ICT舗装 ○1.2億円以上は発注者指定Ⅱ型の導入

#### ■ ICT地盤改良・法面工 ○3億円以上は施工者希望Ⅰ型の導入

#### ■ 技術者及び企業の総合評価での加算点付与の継続

### 【中国 Light ICT新施策導入・活用拡大】

#### ■ 中国LightICT[作業土工(床堀)]の導入

- (施工者希望Ⅱ型、②設計データ作成、③ICT建機による施工、⑤納品を必須とする)
- ・成績、活用証明書、総合評価加点は中国LightICT準用。
- ・中国地方整備局におけるICT活用工事未経験企業に限定。ICT土工と併用する場合は、土工の手続きを優先。
- ・積算要領に示すICT建設機械の規格より小さい建機を用いる場合は、見積活用。システム処理費計上。

#### ■ 路盤を含まない舗装工事を施工実績とする試行導入

- ・要領、基準が未導入のAs、コンクリート舗装について③ICT建機による施工を除く要件を実施した場合は中国LightICT(舗装)の実績とする

### 【ICT複数工種活用モデル工事の拡充】

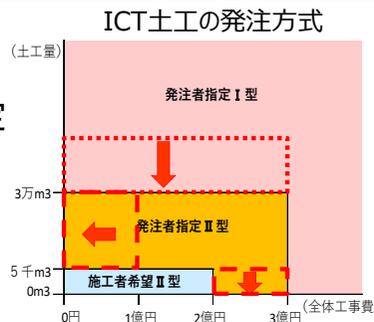
#### ■ 対象事業(工事)の追加

- ・3次元データの工事受注者への手交

[新規設定事業(工区・モデル工事)]

参考：過年度設定事業・モデル工事

- ・山陰道 一般国道9号 北条道路 弓原工区
- ・一般国道2号 福山道路 瀬戸工区
- ・山陰道 徳山・豊田道路 金道地区
- ・山陰道 一般国道9号 静間・仁摩道路 五十猛工区
- ・高梁川水系 小田川合流点付替え事業 柳井原工区
- ・浜田港 福井地区防波堤(新北)整備事業 福井地区



**目的** 平成27年度のICT活用工事試行以来、延べ427件のICT活用工事を実施している。建設現場の生産性への取り組みの裾野を広げるため、実施企業へのインセンティブの付与、ICTサポート制度の継続及びICT活用の啓発を行い普及を図る。

- 方針**
- ICT活用証明書発行・中国ICTサポート企業の拡充・中国版i-Con表彰制度の継続実施
  - 中国ICTトップランナーの選任及びセミナー等への派遣
  - サポート事務所等によるICTの活用啓発

## 2021年度の取組

### 【ICT実施企業へのインセンティブ等の拡充】

#### ■ ICT活用証明書の継続

- 総合評価において企業・技術者へのインセンティブ付与を継続 (R2.10迄に:91社、232名への証明書発行)

#### ■ 中国ICTサポートの拡充

- 受注者へのサポート活用に係る周知徹底
- 広域的且つ機動的なサポート体制確保のため公募による企業等の拡充 (R2:サポート登録企業42社(R元:16企業等増))

#### ■ 中国版i-Con表彰制度の継続

- 平成30年度に完成した18企業、令和元年度に完成した22企業を表彰。表彰企業への加算



### 【サポート事務所・各県推進連絡会によるICTの活用啓発】

#### ■ 中国ICTトップランナーの選任と活用

- ICTにおける先進的な取り組みがなされている企業、ICT表彰企業、サポート企業等から「トップランナー」を各県数社程度選定・講師として派遣



#### ■ 経営者等を対象とした体験会の開催

- ICT活用効果が体験できる会を開催

#### ■ 人材育成の強化

- 研修・セミナー・講演会の継続的な開催と講師派遣。
- サポート事務所・各県推進連絡会による現場見学会の開催

# ③地方公共団体でのICT活用工事の拡大

# ④BIM/CIM業務・工事と フロントローディングの活用拡大

**目的** 生産性向上を進めるため、地方公共団体発注工事においてもICT活用工事の普及を加速させ、建設産業全体への浸透を図る。

**方針**

- 5県2市による取り組み・目標の策定
- 各県での技術講習会の開催
- 各県推進連絡会の体験会開催など活発的な活動促進

## 2021年度の取組

### 【5県2市における取り組みの実行と共有】

■5県2市課長会議において各機関における発注者指定方式、中国LightICTの適用を含む設定目標のフォローアップと実施状況を踏まえた目標のブラッシュアップ

- 年間4回開催し、取り組み状況のフォローアップと設定目標の拡大を議論
- 市町村への普及に係る取り組みを議論

■5県2市によるICT活用工事の統一発注予定工事の公表

### 【各県での3次元CAD基礎講習会等の開催】

■各県において発注事務担当者を対象としたBIM/CIMセミナー(3DCAD演習含)を継続



R2年度 セミナー開催状況

### 【サポート事務所(各県推進連絡会)等による積極的な支援】

■地方公共団体職員、受注企業等を対象に現場見学会、講習会等の開催を継続

- ICT活用工事の効果が体験できる体験会を各県にて開催

■推進連絡会の活性化をリードすべく整備局担当者会議を開催

- サポート事務所の取り組み計画立案

■ICTに係る業界との意見交換を継続



ICT意見交換会(広島県技士会)

**目的** 設計段階(業務受注者)から施工段階(工事受注者)、維持管理段階へ活用できるBIM/CIMモデルの構築を推進する。

**方針**

- モデル事業の拡充
- BIM/CIM活用の拡大に向けた発注者指定方式の拡大
- フロントローディングの発注者指定方式導入

## 2021年度の取組

### 【早期段階から一貫したBIM/CIMを導入するモデル事業を追加】

■新規モデル事業	【R2年度】	【R元年度】
	○浜田: 益田西道路	○岡国: 大樋橋西高架橋
	○岡河: 旭川中上流ダム再生事業	○倉吉: 北条道路
	○岡国: 岡山西バイパス	○浜田: 福光・浅利道路
	(西長瀬～樽津)	○岡河: 小田川合流点付替え
	○山口: 柳井・平生バイパス	○福山: 福山道路
		○山口: 木与防災、俵山・豊田道路

### 【BIM/CIM活用の拡大】

■業務

- ・全ての大規模構造物<sup>※1</sup>の予備設計段階においても発注者指定方式を継続
- ・大規模構造物に加え、河川構造物、砂防構造物、道路設計<sup>※2</sup>の詳細設計において発注者指定方式を拡大
- ・その他の業務は希望方式を継続

■工事

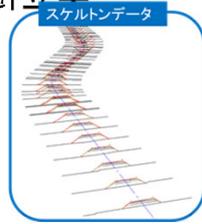
- ・大規模構造物工事で3次元設計成果の手交が可能なものは発注者指定方式を継続
- ・3次元設計がない大規模構造物工事は受注者希望方式

■R3年度試行結果の検証

■R2年度試行結果による課題の対応方針立案

### 【フロントローディングの活用拡大】

■土工を取り扱う全ての業務で3次元データ(スケルトンモデル、サーフェスモデル)を作成し、工事受注者へ手交




## ⑤ 3次元データの全面的な利活用

**目的** 調査、設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても情報を拡充させながらこれを活用し、受発注者双方の業務効率化・高度化を図る目的を達成させるため、整備局内に利活用検討会を設置

**方針**

- 地整版利活用PDCAサイクルを構築
- 3次元データを有目的に活用するテーマを設け、維持管理上の調査に活用

### 2021年度の取組

#### 【3次元データの各段階における有効活用】

##### ■ 3次元データ利活用検討会の設置

○ 整備局内に各部横断的な検討会・WGを設置

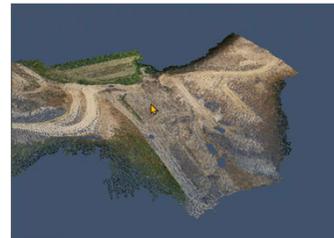
- ・ 2/15 準備会開催
- ・ 検討会 2回/年
- ・ WG 1回/年



【準備会状況】

○ 維持管理上必要な属性情報の集約

- ・ 設計、施工等により得られた点群データの3データを公物管理、公共事業への利活用について検討
- ・ 河川、道路の維持管理上有用な属性情報を整理し、設計、施工時の追加データとして設定し、利活用PDCAサイクルを構築



【3次元点群データ活用】

○ 3次元データを活用した維持管理計画の立案

- ・ 得られた3次元データを活用した維持管理計画の立案

〔河川：河道変化、樹木繁茂管理〕  
〔道路：舗装変状管理〕



【樹木繁茂管理：初期状況】

## ⑥ ICTを活用した事業執行の効率化

**目的** UAV等の所有機器の有効活用による事業及び施設の効率的管理の実施を図る。  
プレキャスト工法(製品)の活用促進

**方針**

- 所有するUAV等の情報通信機器を河川、道路、港湾の管理等へ積極的に活用
- 現場の省力化を図るためプレキャスト工法・製品の活用促進

### 2021年度の取組

#### 【UAV等を活用した予防保全等の効率化】

##### ■ UAVの習熟

- 6月、11月の2期(約40名)の研修を開催し、新規パイロットを育成
- 研修後には練習会等により習熟



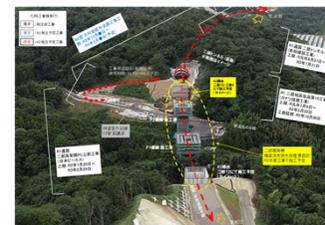
##### ■ 河川関係

- 河川施設の点検、出水時巡視において、接近・目視確認困難な箇所を確認
- 築堤護岸整備などの防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策進捗の見える化へ活用



##### ■ 道路関係

- 山陰道改築事業における定期的な進捗状況把握
- 全事務所において法面小段等の目視困難な箇所における状況把握
- 橋梁点検において近接目視困難な箇所における支援技術として活用



##### ■ 港湾空港関係

- 令和2年度から国有港湾施設(水域施設を除く)の状況確認  
引き続き令和2年度は岸壁、臨港道路、防波堤等の一部施設の変状や老朽化を把握

#### 【プレキャスト製品の活用促進】

- 業務特記仕様書にプレキャスト工法・製品の比較検討の義務化
- 「発注者指定型新技術活用プロジェクト」によるプレキャスト製品比較検討着手

- 目的** 令和元年品確法が改正され、令和2年5月の全国統一指標に平準化が発注者の責務のうち重点的に取り組む事項に位置づけられたことを踏まえ、平準化を確実に進め、働き方改革の推進を図る。
- 方針**
- 直轄工事・業務の平準化に係る取り組みの確実な実施
  - 地方公共団体への取り組みへの支援

## 2021年度の取組

- 【直轄工事の平準化】**
- ロードマップ施策の徹底 (R3年度設定目標値:87.5%)
    - 適切な工期設定を考慮した早期発注手続の積極活用
    - 【R3年度施策:早期発注件数率30%以上】
    - その他施策の継続
- 【直轄業務の平準化】**
- ロードマップ施策の徹底
    - (R3年度設定目標値:第4四半期:45%以下(3月期:30%以下))
    - 適切な工期設定を考慮した早期発注手続の積極活用
    - 【R3年度施策:早期発注件数率30%以上】
    - 第2四半期以降の発注業務は、翌債活用
    - 支援業務の国債設定

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目 標	【目標】第4四半期45%以下 内3月期30%以下	【目標】第4四半期42%以下 内3月期30%以下	【目標】第4四半期40%程度 内3月期30%以下

- 【地方公共団体の平準化推進への支援】**
- 発注者協議会によるフォローアップ
  - 5県2市課長会議での設定目標の拡大及びフォローアップ

- 目的** 全国統一指標に位置づけられおり、更なる週休2日工事の拡大に取り組むことにより、魅力ある建設現場を創出する。
- 方針**
- 直轄工事の実施率向上に係る取り組みの確実な実施 (適切な工期設定)
  - 地方公共団体の取り組みへの支援

## 2021年度の取組

- 【直轄工事の実施率向上】**
- R4年度迄に原則、全ての工事について発注者指定による週休2日制工事を目指す。
  - R3年度は、実施率の目標を90%に設定
    - 発注者指定方式の適用範囲拡大
      - ・原則、全ての本官工事を発注者指定方式を継続
      - ・原則、全てのPC、鋼橋工事を発注者指定方式を継続
      - ・原則、全てのAs、Co舗装工事について発注者指定方式を導入
      - ・1億円以上の改築、改修における一般土木工事について発注者指定方式導入
    - 適切な工期設定、工期延期の場合も週休2日を考慮した工期設定
    - 全ての希望方式の分任官工事において受注者への「閉所」、「交代制」の希望の確認徹底
    - 余裕期間制度、三者会議設計変更審査会、工事工程共有、ワンデーレスポンスの適切な実施
    - 週休2日工事履行証明書の発行、総合評価での加点継続
    - 週休2日実施宣言企業の総合評価での加点継続



- 【地方公共団体の取り組み拡大への支援】**
- 発注者協議会にて全ての機関での対象工事の設定要請
  - 5県2市課長会議での設定目標の拡大及びフォローアップ

# ⑨ 工事書類の簡素化

# ⑩ ウィークリースタンスの徹底

**目的** 工事書類の簡素化に資する施策を推進することにより、工事着手から完了検査までの手続きの効率化を図る。

- 方針**
- 直轄工事の書類簡素化を継続的に徹底
  - 協議書類の縮減に向けた検討着手
  - 検査書類限定型工事検査の継続

## 2021年度の取組

### 【直轄工事の書類簡素化の推進】

- 土木工事書類作成マニュアル(H30.3)の作成不要書類等を具体的に解説をした「土木工事書類作成マニュアルにおける工事書類適正化の手引き(案)(R元.10)」の徹底
- 書類作成マニュアル詳細化した書類作成提出要領を作成し、更なる周知徹底を図る
- 実行に向けて監督職員向けの研修やキャラバン実施
- 受注者、支援業務意見交換会設置(主任監督員単位)

### ■ 協議書類の縮減に向けた検討

- 共通仕様書地整版の拡充検討
  - ・ 共通仕様書に管理基準が設定されていない事項について整備局にて設定することにより、協議書類の低減を図る(未設定出来形、写真管理基準:トンネル、鋼橋、PC、舗装(電共)等について各団体と調整)

調整工種例)

切削オーバーレイ工	橋面防水工 (シート防水)	排水構造物工 管渠工 (各種管渠)
地盤改良工 (ジオテキスタイル敷 設工)	トンネル ロックボルト工	トンネル 掘削補助工法 (長尺鋼管先受け工)

※ 記載外工種も調整検討

### 【検査書類限定型工事検査の継続】

- H31年度よりモデル工事として着手し、R2年度より全ての工事で実施している書類限定検査を継続し、検査時の不必要書類の作成を一掃

**目的** 平成31年4月に施行された改正労働基準法に沿い、適切に取り組み業務、工事受注者の労働環境の改善を図る。

- 方針**
- 直轄工事・業務における取り組みの継続
  - 地方公共団体への普及支援

## 2021年度の取組

### 【直轄工事・業務における取り組みの継続】

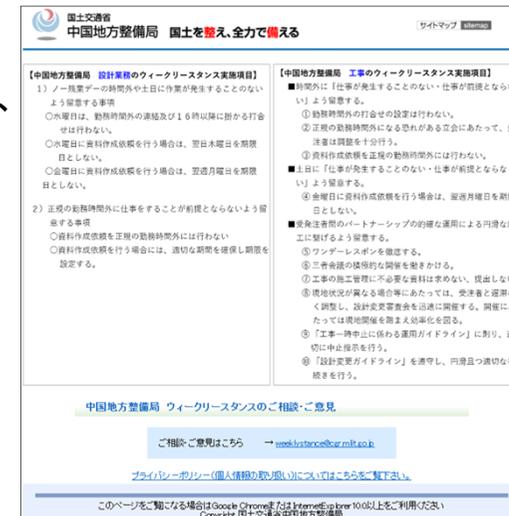
#### ■ ウィークリースタンスの徹底の取り組み

(業務)

- 全ての業務において受注者によりウィークリースタンス状況を本局へ報告  
⇒ 報告内容不適な事務所へは「改善」指示

(工事)

- 特記仕様書への記載を継続し、徹底を図る。
- ご相談、ご意見窓口を整備局WEBサイトに設置  
⇒ 事務所「指導」



<http://www1.cgr.mlit.go.jp/chisei/icon/consult/index.htm>

### 【地方公共団体への普及支援】

- 整備局の取り組みを地方公共団体へ継続周知し、協働を要請

# ⑪ICTの活用による移動時間等の削減

**目的** 通常業務における移動時間、待機時間を削減するため、情報通信技術の適用範囲を拡大し、業務の効率化を推進する。

- 方針**
- 整備局管内、外部機関との会議をWEB会議へ移行
  - 工事監督及び現場立会について、WEBカメラを活用した遠隔現場臨場を全面展開
  - 地質調査業務における立会についてもWEBカメラを活用した遠隔現場臨場を導入

## 2021年度の取組

### 【WEB会議の全面実施】

#### ■ 受・発注者間会議のWLB推進

- 全ての業務、工事で実施。  
(受注者が対面を希望するものを除く)
- 整備局管内会議において継続活用  
(整備局、事務所、出張所間)



### 【工事監督における遠隔現場臨場の実施】

#### ■ 工事監督における遠隔現場臨場 全面試行

- 全ての工事で実施  
(電波不感、解像度等の物理的  
確認困難項目は除く)
- 電波不感地域の事業における通  
信設備整備検討



### 【業務立会における遠隔現場臨場の導入】

#### ■ 業務立会(地質調査)における遠隔現場臨場全面試行

- 全ての地質調査で実施  
(電波不感、解像度等の物理的確認困難項目は除く)

## 令和3年4月以降実施中のICT活用工事（※令和2年度末契約案件のICT活用工事は網羅していません。）

### ICT土工

部局・事務所名	工事名	工期（始）	工事期限（終）	業者名
倉吉河川国道事務所	令和2年度北条道路国坂地区外第4改良他工事	R3.1.28	R3.10.29	(株)井中組
倉吉河川国道事務所	令和2年度北条道路国坂地区外改良他工事	R2.10.1	R3.6.30	(株)共栄組
倉吉河川国道事務所	令和2年度天神川野添5号砂防堰堤付替道路(その5)工事	R2.12.4	R3.9.30	(株)井中組
松江国道事務所	令和2年度出雲湖陵道路三部地区改良第9工事	R2.7.1	R3.7.2	出雲土建(株)
松江国道事務所	令和2年度静間仁摩道路大国地区改良第3工事	R2.6.25	R3.7.31	(株)伏光組
松江国道事務所	令和2年度静間仁摩道路五十猛地区東部改良第10工事	R2.6.18	R3.8.31	出雲土建(株)
松江国道事務所	令和2年度大田静間道路静間地区改良第10工事	R2.7.18	R3.8.31	松江土建(株)
松江国道事務所	令和2年度大田静間道路長久地区法面工事	R2.8.27	R3.5.31	出雲土建(株)
松江国道事務所	令和2年度出雲湖陵道路東神西地区改良第8工事	R2.8.27	R3.10.29	出雲土建(株)
松江国道事務所	令和2年度出雲湖陵道路東神西地区改良第7工事	R2.9.17	R3.7.30	今岡工業(株)
松江国道事務所	令和2年度湖陵多伎道路三部地区改良第4工事	R2.10.1	R3.8.31	(株)フクダ
松江国道事務所	令和2年度湖陵多伎道路二部地区改良第22工事	R2.9.4	R3.7.30	(株)都間土建
松江国道事務所	令和2年度大田静間道路長久地区法面第2工事	R2.9.29	R3.9.30	(株)中筋組
松江国道事務所	令和2年度出雲湖陵道路湖陵1C改良第7工事	R2.9.9	R3.12.20	山陰建設工業(株)
松江国道事務所	令和2年度静間仁摩道路五十猛地区西部第5改良工事	R2.10.19	R3.11.16	(株)中筋組
松江国道事務所	令和2年度静間仁摩道路静間地区第9改良工事	R2.11.2	R4.2.2	出雲土建(株)
松江国道事務所	令和2年度大田静間道路長久地区改良第7工事	R2.9.25	R3.8.31	大福工業(株)
松江国道事務所	令和2年度大田静間道路鳥井地区改良第7工事	R2.12.1	R4.2.28	(株)フクダ
松江国道事務所	令和2年度静間仁摩道路五十猛地区西部第6改良工事	R2.10.16	R4.1.17	カナツ技建工業(株)
浜田河川国道事務所	令和2年度福光・浅利道路福光地区改良第1工事	R3.2.12	R4.1.31	(株)原工務所
浜田河川国道事務所	令和2年度三隅・益田道路鎌手1C改良工事	R2.9.30	R5.2.28	佐藤工業(株)
浜田河川国道事務所	令和2年度高津川中島地区外掘削工事	R2.9.19	R3.6.30	大畑建設(株)
浜田河川国道事務所	令和2年度国道9号木部地区第2法面工事	R2.9.26	R4.1.31	大畑建設(株)
浜田河川国道事務所	令和2年度三隅・益田道路上古市地区第2改良工事	R2.12.4	R4.3.31	大畑建設(株)
浜田河川国道事務所	令和2年度江の川川平地区護岸他工事	R3.1.4	R3.9.30	今井産業(株)
浜田河川国道事務所	令和2年度江の川大貫地区第1掘削外工事	R3.1.19	R3.6.30	今井産業(株)
浜田河川国道事務所	令和2年度江の川大貫地区第2掘削外工事	R3.1.19	R3.6.30	(株)原工務所
岡山国道事務所	令和2年度笠岡バイパスカプト南地区第9改良工事	R2.10.20	R3.12.28	天野産業(株)
高梁川・小田川緊急	令和2年度小田川川川辺地区外第1堤防強化工事	R2.12.23	R3.6.30	(株)カザケン
高梁川・小田川緊急	令和2年度小田川川川辺地区外第2堤防強化工事	R2.12.23	R3.6.30	(株)三幸工務店
高梁川・小田川緊急	令和2年度小田川筋田地区外第1堤防強化工事	R2.12.26	R3.6.30	(株)小田組
高梁川・小田川緊急	令和2年度小田川筋田地区外第2堤防強化工事	R2.12.25	R3.6.30	栄光テクノ(株)
高梁川・小田川緊急	令和2年度小田川妹地区外堤防強化工事	R2.12.26	R3.6.30	(株)ニシテクノ
三次河川国道事務所	令和2年度鍵掛峠道路新屋地区第7改良工事	R2.9.28	R4.1.31	平井工業(株)
三次河川国道事務所	令和2年度鍵掛峠道路新屋地区第8改良工事	R2.9.28	R4.1.31	美保テクノス(株)
三次河川国道事務所	令和2年度江の川片山地区中流築堤外工事	R2.9.11	R3.5.31	(株)加藤組
三次河川国道事務所	令和2年度鍵掛峠道路横手地区外第2改良工事	R2.11.13	R4.3.22	広成建設(株)
太田川河川事務所	令和2年度三篠川上深川地区堤防他その2工事	R2.12.28	R3.5.31	栗栖建設工業(株)
太田川河川事務所	令和2年度三篠川上深川地区外護岸工事	R2.12.28	R3.5.31	栗栖建設工業(株)
太田川河川事務所	令和2年度三篠川上深川地区堤防他工事	R2.11.9	R4.2.28	若松建設(株)
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス上瀬野地区第6改良工事	R3.1.26	R4.2.28	(株)砂原組
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス上瀬野地区第7改良工事	R3.2.1	R4.3.31	山陽工業(株)
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス寺分地区第5改良工事	R3.1.9	R4.2.28	山陽建設(株)
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス上大山第5改良他工事	R3.1.7	R4.5.31	錦建設(株)
広島国道事務所	令和2年度東広島バイパス瀬野西1C第3改良工事	R3.1.8	R3.12.28	(株)栗本
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス八本松1C第5改良工事		R4.2.28	(株)鴻治組
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス寺分地区第4改良工事	R2.10.2	R4.2.28	(株)加藤組
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス八本松1C舗装工事	R2.10.3	R3.10.29	日本道路(株)
広島国道事務所	令和2年度広島南道路明神高架橋第3下部工事	R2.8.14	R3.11.30	(株)砂原組
広島西部山系砂防事	令和2年度広島西部山系原地区砂防堰堤外工事	R2.12.1	R4.3.31	宮川興業(株)
広島西部山系砂防事	令和2年度広島西部山系城北6号砂防堰堤工事	R3.1.7	R4.3.31	若松建設(株)
広島西部山系砂防事	令和2年度広島西部山系寺条川支川溪流砂防堰堤第2工事		R3.8.31	河井建設工業(株)
山口河川国道事務所	令和2年度佐波川真尾地区河道掘削工事	R3.1.19	R3.6.30	洋林建設(株)
山口河川国道事務所	令和2年度富海拡幅椿峠地区外第5改良工事	R3.1.27	R3.9.30	シマダ(株)
山口河川国道事務所	令和2年度富海拡幅富海第9改良工事	R2.12.2	R3.8.31	洋林建設(株)
山陰西部国道事務所	令和2年度俵山・豊田道路豊田地区工事用道路整備工事	R2.12.19	R3.9.30	嶋田工業(株)
山陰西部国道事務所	令和2年度俵山・豊田道路栗野川橋下部外工事	R2.10.31	R3.8.31	日本国土開発(株)

### ICT舗装

部局・事務所名	工事名	工期（始）	工事期限（終）	業者名
鳥取河川国道事務所	令和2年度国道53号栄町舗装修繕その1工事	R3.1.5	R3.6.30	(株)藤原組
鳥取河川国道事務所	令和2年度国道53号栄町舗装修繕その2工事	R3.1.5	R3.6.30	大和建設(株)
鳥取河川国道事務所	令和2年度国道9号伏野地区舗装修繕工事	R2.8.27	R3.9.1	(株)興洋工務店
倉吉河川国道事務所	令和2年度北条道路国坂地区外第4改良他工事	R3.1.28	R3.10.29	(株)井中組
倉吉河川国道事務所	令和2年度北条道路国坂地区外改良他工事	R2.10.1	R3.6.30	(株)共栄組
松江国道事務所	令和2年度静間仁摩道路宅野トンネル舗装工事	R2.10.17	R3.12.28	(株)佐藤渡辺
浜田河川国道事務所	令和2年度国道191号高津地区外舗装修繕工事	R3.1.28	R3.7.31	中国道路(株)
浜田河川国道事務所	令和2年度国道9号三隅地区外舗装修繕工事	R3.1.27	R3.7.31	(株)毛利組
浜田河川国道事務所	令和2年度国道9号三宮高架橋外橋梁補修工事	R2.11.11	R3.9.30	宮田建設工業(株)
岡山国道事務所	令和2年度国道2号早島地区交差点舗装工事	R2.11.10	R3.11.30	杉本道路(株)
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス上瀬野地区第7改良工事	R3.2.1	R4.3.31	山陽工業(株)
広島国道事務所	令和2年度広島南道路明神高架橋第3下部工事	R2.8.14	R3.11.30	(株)砂原組
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス八本松1C舗装工事	R2.10.3	R3.10.29	日本道路(株)

### ICT法面工

部局・事務所名	工事名	工期（始）	工事期限（終）	業者名
倉吉河川国道事務所	令和2年度北条道路国坂地区外第4改良他工事	R3.1.28	R3.10.29	(株)井中組
倉吉河川国道事務所	令和2年度北条道路国坂地区外改良他工事	R2.10.1	R3.6.30	(株)共栄組
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス上瀬野地区第6改良工事	R3.1.26	R4.2.28	(株)砂原組
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス上瀬野地区第7改良工事	R3.2.1	R4.3.31	山陽工業(株)
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス寺分地区第5改良工事	R3.1.9	R4.2.28	山陽建設(株)
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス上大山第5改良他工事	R3.1.7	R4.5.31	錦建設(株)
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス八本松1C第5改良工事		R4.2.28	(株)鴻治組
広島西部山系砂防事	令和2年度広島西部山系原地区砂防堰堤外工事	R2.12.1	R4.3.31	宮川興業(株)
広島西部山系砂防事	令和2年度安芸南部山系明神川溪流保全工外工事		R4.3.31	山陽工業(株)
広島西部山系砂防事	令和2年度安芸南部山系神長南川溪流砂防堰堤外第2工事		R3.9.30	松尾建設(株)

### ICT地盤改良工

部局・事務所名	工事名	工期（始）	工事期限（終）	業者名
岡山国道事務所	令和2年度笠岡バイパス寺間地区改良工事	R2.9.24	R3.6.30	天野産業(株)
岡山国道事務所	令和2年度笠岡バイパス鋼管地区改良工事	R2.9.24	R3.8.31	天野産業(株)
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス上瀬野地区第6改良工事	R3.1.26	R4.2.28	(株)砂原組
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス上瀬野地区第7改良工事	R3.2.1	R4.3.31	山陽工業(株)
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス寺分地区第4改良工事	R2.10.2	R4.2.28	(株)加藤組
広島国道事務所	令和2年度安芸バイパス八本松1C第5改良工事		R4.2.28	(株)鴻治組